

電子メールの誤送信対策を低コストで実現できるサービス  
 「メール誤送信対策 ASPサービス」を4月19日(月)より販売開始

キヤノンMJ ITグループのキヤノンITソリューションズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:浅田和則、以下キヤノンITS)は、電子メールの誤送信対策を低コストで実現できる「メール誤送信対策 ASPサービス」の販売を4月19日(月)に開始します。

電子メールの誤送信は、主にヒューマンエラーが原因であり、技術的な対策が困難なため、各組織で大きな課題となっています。「メール誤送信対策 ASPサービス」は、送信者本人や上長による確認、Ccに同報されている社内の第三者による気づきによって、誤った電子メールを外部に配送する前に取り消すことで、誤送信の防止に役立ちます。

■ サービスのエンジンとして「GUARDIAN CorrectMail」を使用

「メール誤送信対策 ASPサービス」は、キヤノンITSが開発・販売している電子メール誤送信対策システム「GUARDIAN CorrectMail」を使用したASPサービスです。

電子メールの誤送信予防は、送信する前にできるだけ「気づく」範囲を広げることが重要です。「GUARDIAN CorrectMail」には、「自己査閲」機能や「上長査閲」機能のほか、社内の第三者が誤送信に気づくことを可能にする「分割評価」機能※が搭載されており、本サービスでもそれらの機能を利用可能です。※環境によっては利用できない場合があります。

■ ASPサービスによる導入・運用コストの削減

本サービスは、お申し込みから約2週間以内でサービスの利用が可能となります。最小10アカウントからお申し込み可能で、1アカウントあたりのサービス利用月額額は250円です。システムの導入・運用コストを大幅に削減しつつ、セキュリティレベルの向上が図れます。

■ 価格(税別)

サービス名	初期費用	月額費用(1アカウント)
メール誤送信対策 ASPサービス	50,000円	250円

<「メール誤送信対策 ASPサービス」の主な特長>

1. 簡単導入

本サービスは、社内から外部に送信する電子メールを対象としたサービスです。サービスの導入に当たっては、メールソフトの送信先サーバーの設定または社内メールサーバーの外部送信先サーバーの設定変更だけで利用が可能となります。受信メールに関する設定変更の必要はありません。

2. 対障害を考慮した運用管理

本サービスは、当社データセンター内で機器の冗長構成をとっています。万一、サーバーに障害が発生した場合でも自動的にバックアップ機に切り替わり、電子メールの配送への影響を最小限に抑えます。

3. 「GUARDIAN CorrectMail」による誤送信対策アプローチ

【自己査閲】

「GUARDIAN CorrectMail」は、送信した電子メールを一定時間保留(配送遅延)することができます。送信者は保留されている電子メールを自分自身で確認し、削除することができます。設定された一定時間を経過した電子メールは、自動で配送されるので送信し忘れることはありません。



【上長査閲】

GUARDIAN CorrectMailは、送信した電子メールがルールに合致した場合、その電子メールを保留することができます。上長は部下の保留されている電子メールを確認し、送信または削除することができます。



<「メール誤送信対策 ASPサービス」販売情報>

■ 価格(税別)

サービス名	初期費用	月額費用 (1アカウント)	最小ご契約 アカウント数	最短ご利用期間
メール誤送信対策 ASPサービス	50,000円	250円	10アカウント	1年

■ オプション(税別)

	初期費用	月額費用
アンチウイルスオプション	-	300円/アカウント
フィルタールール導入支援オプション	100,000円	-
専用ホスティングオプション	200,000円	180,000円

※GUARDIAN、CorrectMailは、キヤノンITソリューションズ株式会社の登録商標です。

※その他記載の製品名および社名は各社の商標または登録商標です。

※仕様は予告なく変更する場合があります。